

第1回パソコン入カスピード認定試験問題 (19.2.10)

日 本 語 部 門

(制限時間 10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔 書 式 設 定 〕

1. A4縦長用紙
2. 1行の文字数を30字、1ページの行数を30行に設定しなさい。
3. ヘッダーに試験実施校名、受験番号を入力しなさい。
4. ページ番号を答案用紙の下に入れること。
5. プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔 注 意 事 項 〕

1. 問題のとおり、すべて全角文字で入力しなさい。
2. 長音は必ず長音記号で入力しなさい。
3. 入力したものの訂正や適語の選択などの操作は制限時間内に行いなさい。
4. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することが許されています。

試験終了後

1. 答案用紙が2枚以上になった場合、左端上をステープラー（ホッチキス）でとめなさい。
2. 答案用紙、試験問題を提出しなさい。

【日本語部門】

わが国では、昭和40年代からモータリゼーションが急速に進んだ。これにより路面電車は、交通の障害になるという理由で、バスや地下鉄へその役割をゆずることになった。その結果、多くの路線が廃止され、現在では、全国17都市で19事業者が運営しているだけになっている。

路面電車は、愛称でチンチン電車と呼ばれることがある。今ではワンマン化された電車も、以前は二人で乗務していた。その時代には、運転士に車掌が合図を送るため、ベルを鳴らしていた。この音から愛称が付いたといわれる。ベルの音は、走行中の電車が停留所に近づいた時、チンと1回鳴らすと停車せよという意味となる。また、2回鳴らせば通過してよい意味になる。さらに、停車中に2回鳴らした場合は、乗り降りが済んだので、出発してよいという意味で使用された。このベルの音から、チンチン電車と呼ばれるようになった。現在でも東京都内を走る都電では、ドアを閉めて発車する時に、自動的にベルが鳴る仕組みとなっている。

わが国で初めて走った路面電車は、1895年に京都市で営業を開始した京都電気鉄道である。その後は相次いで、名古屋や東京などという大きな都市で運行が始められ、路線は急速に拡大していった。なかでも大正から昭和の初期にかけての時期は、多くの路線が整備された。昭和7年にはピークを迎え、その路線は67都市にも広がり、営業距離は約1480kmにも達した。一方、バスが普及してきた影響もあって、この時期を境にして少しずつではあるが、その規模は縮小傾向が現れてきた。それでも、昭和20年代までは多くの都市の主要な輸送機関として、市民の足となり生活に定着していた。

1960年代になり、高度成長時代を迎え、自家用車を所有する人が増加すると、都市部の道路の混雑は激しくなった。路面電車の運転効率は低下し、バスと比較した経済性の悪さも指摘された。さらに、押し寄せるモータリゼーションの波には勝てず、渋滞の原因になるといわれ、70年代にかけて全国各地で廃止された。一部の

大都市では、その代わりに地下鉄が建設されたが、多くの都市では	878
代替にバスが使われた。	890
しかし、円滑な交通の障害になると次々と路面電車を廃止して、	920
道路面を確保してみたものの、都市部における車の氾濫と交通渋滞	950
は解消されなかった。一方では、深刻化する公害問題も放置を許さ	980
ない段階に達した。このような都市の状況を目の当たりにし、時に	1010
は路線を縮小されても、モータリゼーションの波から、路面電車を	1040
守り続けてきた都市があった。全国的にも乗客が減少する傾向が続	1070
いている現在にあつて、あえて路面電車を復権させようとする都市	1100
も少なくない。	1108
また、少子高齢化の進展や、自動車に依存した社会構造の限界と	1138
いう世の中の変動に伴って、公共交通機関に大きな役割が求められ	1168
ている。地球環境や高齢化社会、財政面など各視点から期待され、	1198
導入された公共交通機関が、L R T（次世代型路面電車システム）	1228
である。L R Tは、低床式車両を導入し、軌道や停留所を改良する	1258
ことで乗降を容易にし、定時性、速達性などで優れた公共交通機関	1288
である。	1293
この特徴は、環境への負荷が小さく、排気ガスや騒音問題にも優	1323
れ、地球温暖化防止にも役立つのである。また、都市の交通も円滑	1353
になる。さらに、バリアフリーにより乗降時の段差が無くなり、誰	1383
もが利用しやすい新しい都市交通である。建設費も他の交通手段に	1413
比べ低く、およそ地下鉄の20分の1、新交通システムの10分の	1443
1といわれている。	1453
1970年代アメリカでは、新交通システムの開発で困難に直面	1483
した。そこで、バス以上の輸送力を持ち、地下鉄よりは簡易な交通	1513
システムを、低いコストで建設することを目指した。当時、ドイツ	1543
に残存していた路面電車を改良し、L R Tの導入が図られた。その	1573
後は、ヨーロッパでも既設の路面電車の改良や、新しい路線の整備	1603
が相次いだ。80年代の後半からは、近代的な低床式車両の導入が	1633
積極的に進められ、世界的にも大きな影響を与えた。	1658

【日本語部門】

日本で本格的にL R Tが導入されたのは、富山ライトレールである。	1688
この路線の前身は、J R西日本の富山港線である。J Rの時代	1718
には、利用者減少により廃止も検討された、約8 k mの地方交通線	1748
であった。これを路面電車化させ、低床式車両を導入するなど、誰	1778
もが利用しやすい公共交通機関として、第三セクター方式で再生し	1808
た。電車とホームのすき間は3 c m程度で、ベビーカーや車椅子で	1838
も乗り降りが楽である。バスと比較しても乗り降りしやすく、外出	1868
の機会が増えたお年寄りもいるという。	1887
L R Tの導入で、次の効果も期待されている。自家用車は郊外に	1917
設置された駐車場に駐車し、L R Tに乗り換え市街地の中心に移動	1947
する、パークアンドライドによって交通渋滞が解消される。また、	1977
目抜き通りへの自動車の乗り入れを禁止し、バリアフリー化に配慮	2007
した低床式車両を運行することで、乗客が利用しやすい環境を作る	2037
ことができる。さらに、主要道路などで一般車両を制限し、歩行者	2067
や公共交通を優先させる、トランジットモールを導入することで、	2097
市街地の活性化を図ることも考えられる。	2117
富山ライトレールは、日本初の試みとして全国から脚光を浴びて	2147
おり、堺市や宇都宮市などでも新設を模索する動きがある。また、	2177
熊本市や広島市などでは、1990年代後半から既存の路面電車に	2207
低床式車両を導入し、L R Tへの関心も高まっている。L R Tは、	2237
町中を水平に移動するエレベーターのようなものである。上り下り	2267
がなく、歩くだけで生活できる町作りが、高齢社会には必要な	2297
のである。現在では路面電車も車両技術やデザイン面において、最先端	2327
の超低床式車両を採用する例は少なくない。大手新聞にもL R Tの	2357
特集記事が掲載されるなど、社会的関心も高まっている。今後は、	2387
日本の各都市でL R Tが運行されることを期待する。	2411